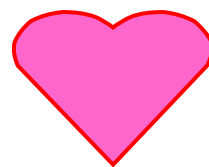


いのちの大切さを考える本



「大切にしよう 自分のからだ」1



風邪などの予防や健康なからだ作りに参考になる本。
＜新型インフルエンザが流行した平成22年度（2010年度）に
発行したものです。＞

東村山市立図書館

てをあらおう いしかわまさゆき／作・絵 講談社

食中毒、風邪、インフルエンザなどの予防のために、手洗いが大切だということが幼児にもわかるように書かれている絵本。指と指の間もよく洗うなど実際の手の洗い方もわかります。（絵本・知識 幼児～）

ぼく びょうきじゃないよ 角野栄子／さく 垂石真子／え 福音館書店

風邪をひいたら、つりに行けなくなってしまう…。でも、お母さんはケンがごほんとせきをしたのを見逃しませんでした。病気じゃないのにと思いながら寝ていると、大きなくまのお医者さんがやってきました。物語の中にうがいの仕方など病気のことがうまく織り込まれています。（絵本・物語 幼児～）

きょうりゅうたちがかぜひいた

ジェイン・ヨーレン／文 マーク・ティーン／絵 なかがわちひろ／訳 小峰書店

恐竜たちが風邪ひいたらどうなる？鼻をかんだティッシュは、てんこ盛り。お医者さんに連れて行っても、診察室から逃げ出してしまう？いえいえ、この絵本の中の恐竜たちはちゃんと言うことをきくよい子たちなのです。（絵本・物語 幼児～）

あたしもびょうきに なりたいな！

フランツ＝プランデンベルク／さく アリキ＝プランデンベルク／え ふくもとゆみこ／やく 偕成社

きょうだいのエドワードが病気になりました。お母さんも、お父さんも、おばあちゃんまで、心配していろいろと世話をやいているのをみて、わたしも病気になりたいと思いますが…。（絵本・物語 幼児～）

すっすっはっはっ こ・きゅう 長野麻子／作 長野ヒデ子／絵 童心社

空気をゆっくり吸い込んで吐き出すと、気持ちがよくて元気がわいてくる。「くうきをすって すう～」 「はいて はあ～」この絵本のとおり、みんなで「すー はー」して、声を出してみると、楽しいですよ。（絵本・知識 幼児～）

あさごはんから はじめよう すずきさちこ／著 講談社

朝ごはんを食べずに学校へ行ったあさこちゃん。でも、頭は働かないし、体もうまく動きません。すると、「げんきのおまじないは、はやね はやおき あさごはん」という声が聞こえてきました…。朝ごはんの大切さをやさしく解説してくれます。（知識 小学校3・4年～）

病気の魔女と薬の魔女 岡田晴恵／著 学研

新米魔女のローラは、薬局で働きながら、薬草の魔女や青カビから薬を作る魔女のもとで修行をしています。今年は初めて世界中の魔女が集まるワルプルギスの祭りに連れて行ってもらえることになりました。でもそこには、恐ろしい病気を流行らせる病気の魔女たちも集まってきていたのです。作者はウィルスの研究者で、新型インフルエンザに関する正しい知識を広めるためにこの物語を書きました。

（物語 小学校5・6年～）

裏面もあります

大切にしよう 自分のからだ 1

知識の本

書名	著者名	出版社名
さよなら バイキンくん	わらべきみか/作	ひさかたチャイルド
「おててじゃぶじゃぶ、きれいになあれ。おうちごぼごぼきれいになあれ。」うがいと手洗いをわかりやすく書いた絵本。(幼児～)		
ワクワク絵本シリーズ たのしくたべよう①～③	たしろたく/え 香川芳子/監修	女子栄養大学出版部
栄養の大切さがわかる絵本。後ろには保護者向けのページもあります。(幼児～)		
からだ ころろ げんき かむかむ	カムカムズ/文 南伸坊/絵	PHP研究所
かむことで、体も心も元気になる。登場人物カムカム・カミーと一緒にかむ力を見直しましょう。(1・2年～)		
ゲーとピー たぬきせんせいのびょうきのほん	毛利子来/ぶん なかのひろたか/え	福音館書店
かずこちゃんは夜中に気持が悪くなり、口からゲーが飛び出した。小児科医が書いた子どもの嘔吐と下痢の絵本。(幼児～)		
家族で食育!朝ごはん ①からだに元気!朝ごはん	服部幸應・服部津貴 子/監修	岩崎書店
食事や栄養、正しい生活リズムの大切さを書いたシリーズ。料理のレシピ付き。全5巻。(3・4年～)		
知ろう!防ごう!インフルエンザ ②インフルエンザの予防と対策	田代真人・岡田晴恵/ 監修	岩崎書店
新型インフルエンザの予防と対策を写真や図版を使って説明した本。シリーズ全3巻。(5・6年～)		

絵本・物語

書名	著者名	出版社名
かぜ ひいちゃったかな?	リンネ・ビー/作	講談社
ロザリーは風邪をひいたみたい。ママはお熱をはかりました。風邪をひくとどうなるか、幼児向けに書かれた絵本。(幼児～)		
ねずみのおいしゃさま	なががわまさふみ/さく やまわきゆりこ/え	福音館書店
夜中お医者さまに、りすさんから電話がかかってきました。お医者さまは大雪の中を診察に出かけていきました。(幼児～)		
さるのせんせいとへびのかんごふさん	穂高順也/ぶん 荒井良二/え	ビリケン出版
新しく出来た病院にはさるの先生とへびの看護師さんがいます。病院を舞台にしたコミカルで楽しくなる絵本。(幼児～)		
かぜひき ころわん	間所ひさこ/作 黒井健/絵	ひさかたチャイルド
子犬のころわんは、くしゃみが出ているのに遊びに出かけてしまいました…。(幼児～)		
エイモスさんが かぜを ひくと	フィリップ・C・ステッド/文 エリン・E・ステッド/絵	光村教育図書
エイモスさんは毎日動物園へお仕事に。ある日風邪でお休みしたら、なんと動物たちがお見舞いに来てくれました。(幼児～)		
かぜ	そうまこうへい/さく・え	フレーベル館
いつもは元気なぶんべいが、風邪をひいてしまいました。家族が優しくしてくれるけれど、あんまり嬉しくありません。(幼児～)		
おふとんの くにの こびとたち	おちのりこ/さく でくねいく/え	偕成社
ひさこちゃんは熱を出して寝ていました。すると布団の上に小人たちがやって来て…。(幼児～)		
かぜをひいたちびくまくん	ユーベ/さく シュピース/え	偕成社
ちびくまくんが風邪をひきました。「うっわーん。ミルクなんかいらないうよ。」と泣いてばかり。くまの子が主人公の幼年童話。(幼児～)		